

小中高を通じた伝統や文化に関する学習の改善の方向性（素案）

	古典を楽しむ、古典に親しむ 言葉を手掛かりに、昔の人のものの見方 や感じ方、考え方を知る	現代に受け継がれてきた言葉に 親しむ	文字文化(書写を含む)に触れる
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞く ・易しい文語調の短歌や俳句を音読、暗唱する ・易しい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読し、大体的内容を知る ・古典について解説した文章を読む 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代においても使われていることわざや慣用句、故事成語の<u>成り立ち</u>や意味を知り、使う 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を正しく整えて書く ・平仮名、片仮名、漢字の由来、特質について理解する
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・古典作品の様々な種類や<u>代表的な古典作品を知る</u> ・文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読する ・現代語訳や語注等を手掛かりにして作品の内容を理解し、人物の心情や情景等を想像しながら朗読する ・歴史的背景等を踏まえて古典を読む ・古典について解説した文章を読む 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代においても広く知られている古典の<u>一節を引用して文章を書く</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を正しく整え、読みやすく速く書く(楷書、行書) ・多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書く(文字文化の多様性や<u>表現の豊かさ</u>について理解する) ・漢字の由来、特質について幅広く<u>理解する</u>

※現行の指導事項を整理したものであり、すべての指導事項を網羅的に記載したものではありません。なお、下線部は現行学習指導要領に明示的に示されていない内容である。

【言語文化(仮称)】※必履修科目

上代(万葉集の歌が詠まれた時代)から近現代につながる我が国の言語文化への理解・関心を深める科目

・言語の文化的側面(我が国の歴史の中で創造され、上代から近現代まで継承されてきた文化的に高い価値をもつ言語そのもの)への理解・関心を深め、これを継承していく一員として、自身の言語による諸活動に生かす能力

- ・古典特有の表現を味わう、古典の言葉と現代の言葉のつながりを理解する。 ・我が国の多様な文字文化について考察する。
- ・文語のきまりや訓読のきまりを理解して、古典を読み、そこに表れた思想や感情を読み取る。

など

【古典探究(仮称)】

古文・漢文を主体的に読み深めることを通して、我が国の伝統的な言語文化への理解・関心を深める科目

- ・古典の内容や表現の特色を理解して読み味わう。
- ・文語のきまりや訓読のきまりを理解して、古典を読み、内容やそこに表れた思想、感情を的確に捉える。

など